



2017年3月期 第3四半期 決算説明会

パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員
小谷 進

2017年2月13日

本日の発表のポイント

1. 2017年3月期 第3四半期 連結決算実績:

- 第3四半期の売上は、円高の影響もあり前年同期を下回ったが、営業利益は前年同期並みで、ほぼ計画どおり
- 9ヵ月通期は、売上、営業利益ともに前年同期を下回ったが、営業利益はほぼ計画どおり
- 為替差損や、事業構造改善費用、事業譲渡損失により、当期純損失を計上

2. 2017年3月期 連結業績予想:

- カーOEMの受注状況等を反映し、前回予想に対して売上は減少を見込むが、コスト管理の強化により、通期の利益予想は据え置く

3. トピックス:

- HEREとの提携をグローバルな地図ソリューションおよび次世代位置情報サービスに拡大

本日の説明

1. 2017年3月期 第3四半期連結決算
2. 2017年3月期 連結業績予想
3. トピックス

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

1. 2017年3月期 第3四半期連結決算

2017年3月期 第3四半期・9ヵ月通期： 連結業績概要

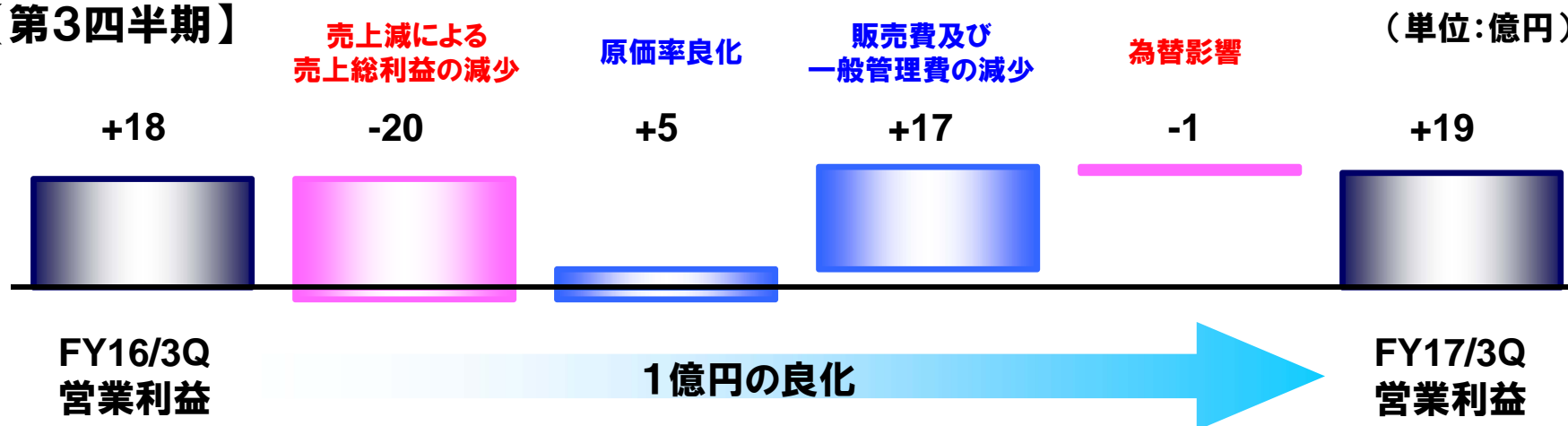
(単位:億円)

	第3四半期			9ヵ月通期			
	当四半期	前年同期	前年同期比	当期	前年同期	前年同期比	
売上高	984	1,169	84.2%	2,888	3,395	85.1%	
営業利益	19	18	106.2%	34	38	88.2%	
経常損益	-10	10	-	19	24	78.2%	
当期純損益*	-40	2	-	-30	-17	-	
為替 平均レート	1USドル	109.30円	121.50円	-11.2%	106.63円	121.70円	-14.1%
	1ユーロ	117.78円	132.95円	-12.9%	118.02円	134.36円	-13.8%
1株当たり純損益*	-10.88円	0.67円	-11.55円	-8.25円	-4.76円	-3.49円	
ROE	-19.8%	1.0%	-20.8%	-4.8%	-2.3%	-2.5%	
1株当たり純資産	228.42円	268.30円	-39.88円				
ROA	-5.6%	0.3%	-5.9%	-1.4%	-0.7%	-0.7%	

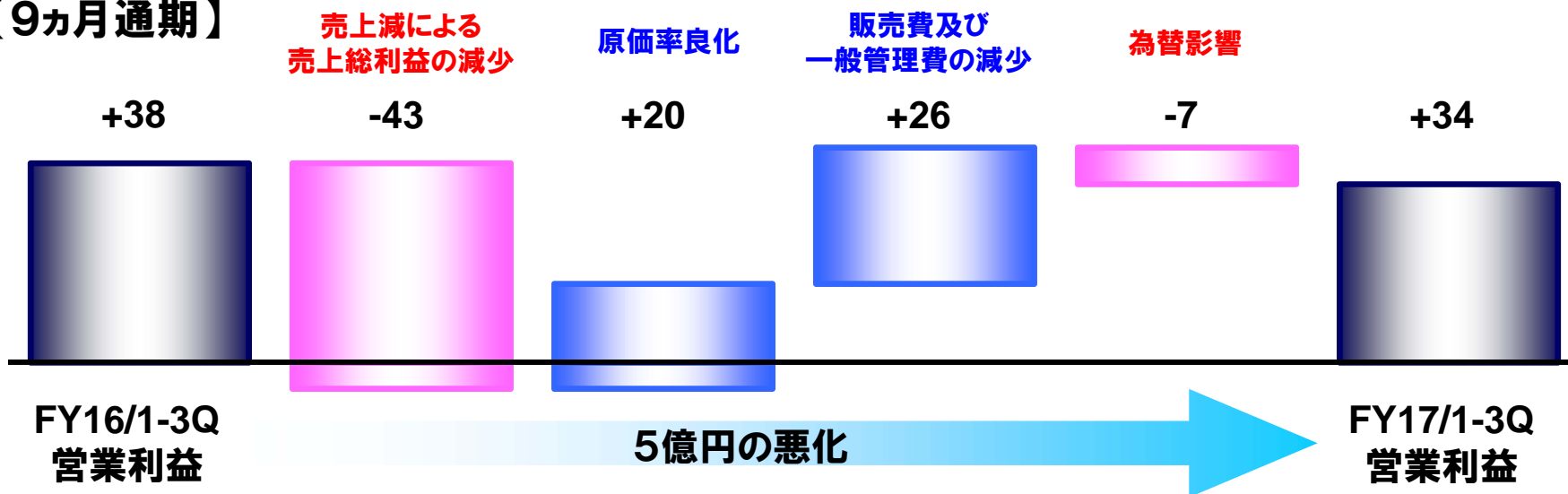
* 親会社株主に帰属する当期純損益

2017年3月期 第3四半期・9ヵ月通期： 営業利益増減要因

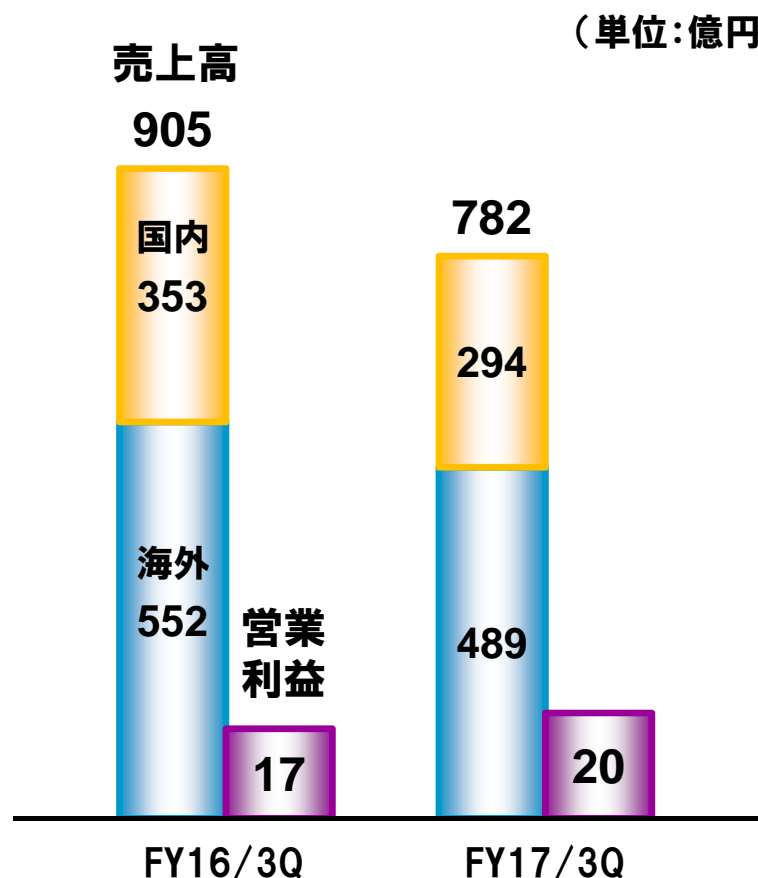
【第3四半期】



【9ヵ月通期】



2017年3月期 第3四半期：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 57% (前年同期 61%)

前年同期比	86% (国内 83%、海外 89%)
増収要因	特になし
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム OEMカーオーディオ 市販カーオーディオ

< 営業利益 >

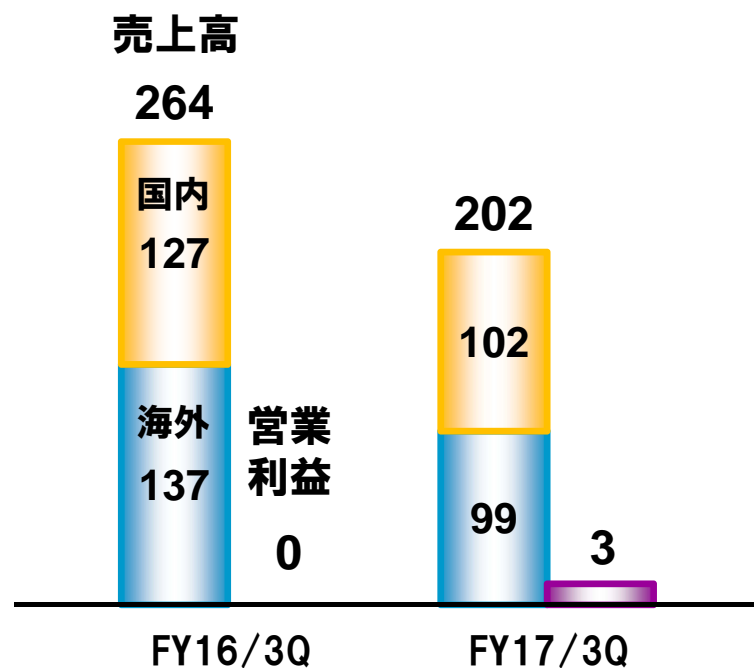
前年同期比	3億円の良化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少(+17億円)
悪化要因	売上減による売上総利益の減少(-13億円) 為替影響(-1億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー、地図ソフト

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前年同期の金額についても組替表示しています。

2017年3月期 第3四半期： その他

(単位:億円)



< 売上高 >

前年同期比	76% (国内 80%、海外 73%)
増収要因	FA機器
減収要因	ホームAV、光ディスクドライブ

< 営業利益 >

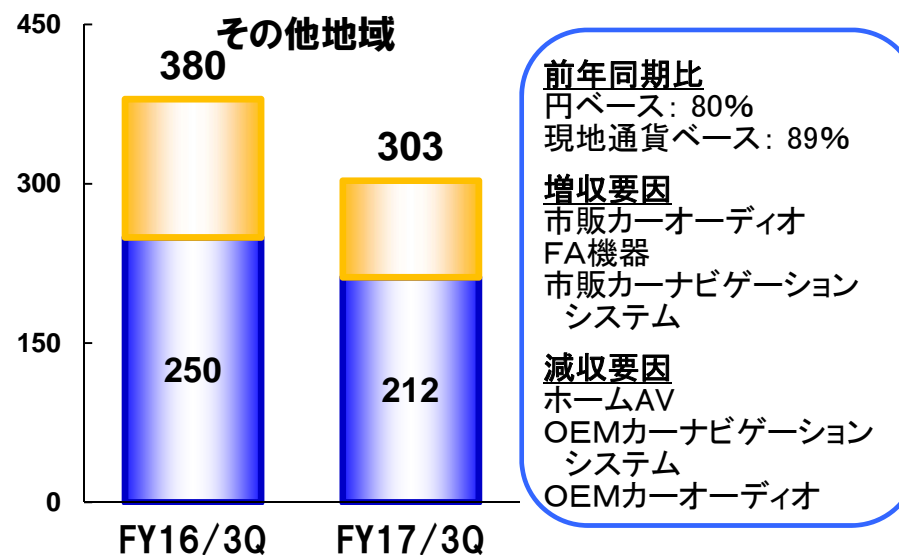
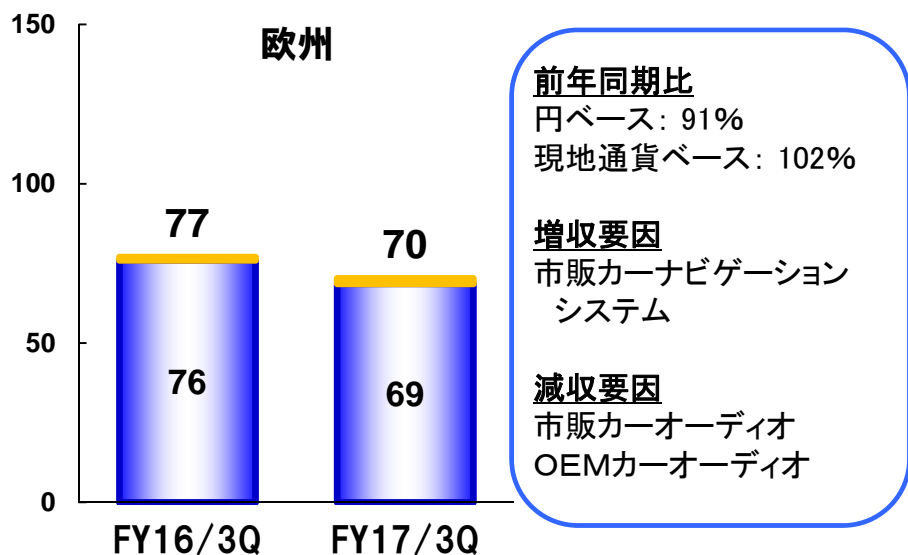
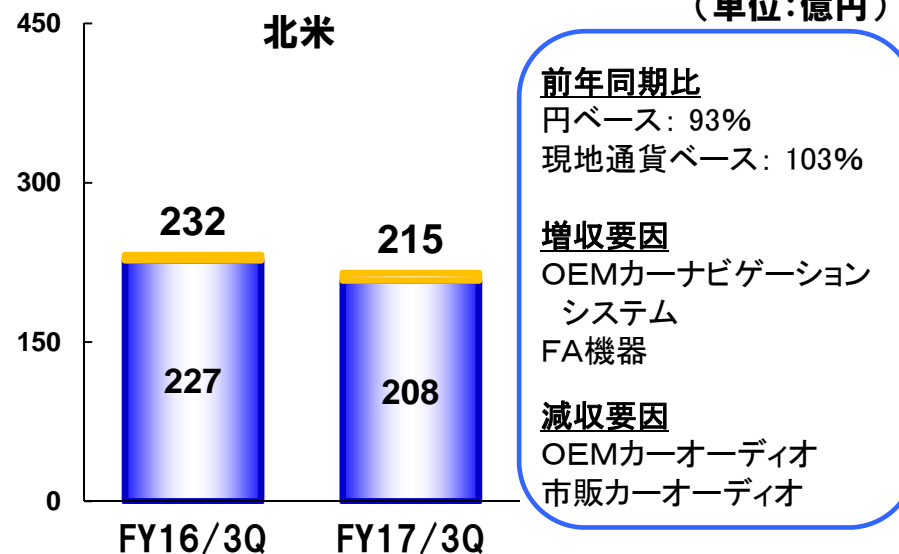
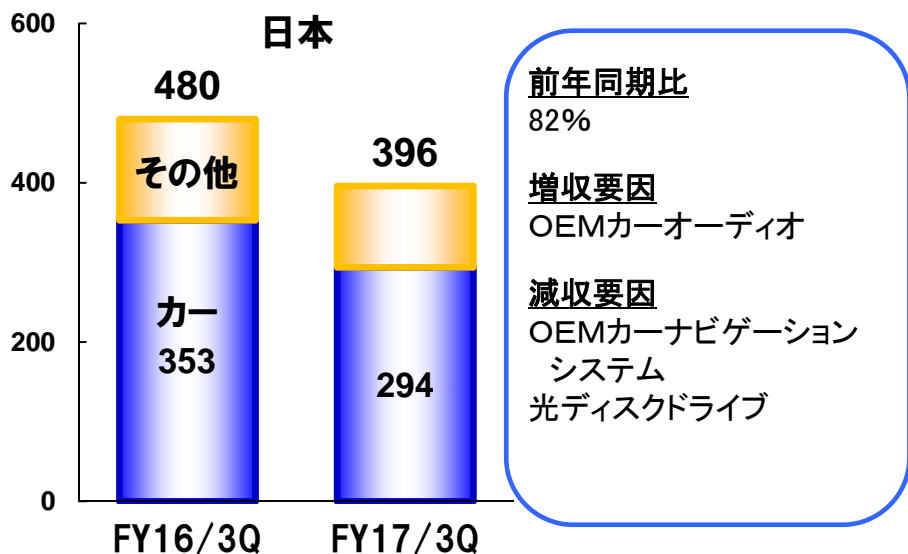
前年同期比	2億円の良化
良化要因	原価率良化(+7億円) 販売費及び一般管理費の減少(+2億円)
悪化要因	売上減による売上総利益の減少(-7億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
光ディスクドライブ関連製品、CATV関連機器、FA機器、
電子部品、有機ELディスプレイ、DJ機器(生産・販売受託)、
ホームAV

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前年同期の金額についても組替表示しています。

2017年3月期 第3四半期：地域別売上高

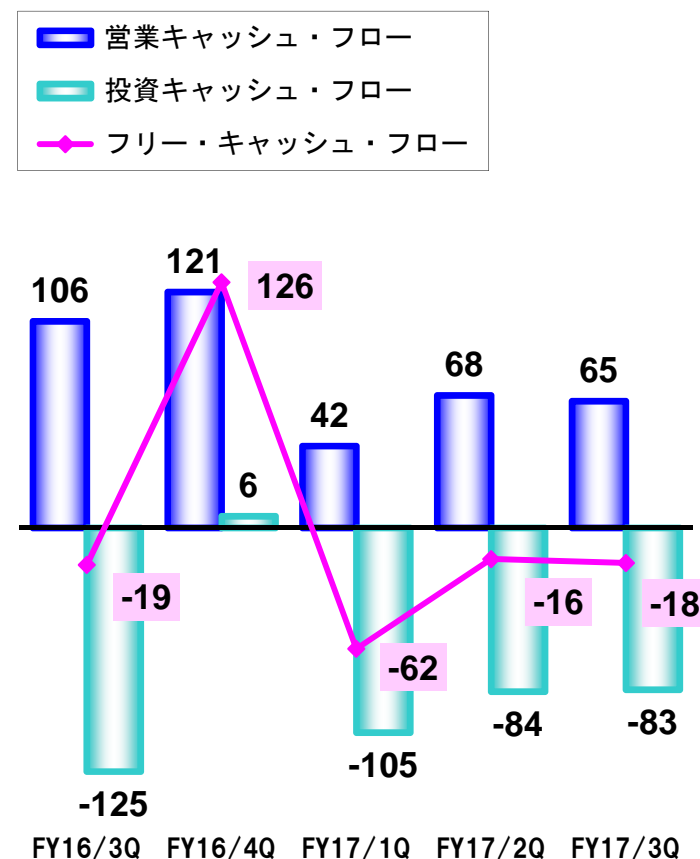
(単位:億円)



2017年3月期 第3四半期・9ヵ月通期： 連結キャッシュ・フロー計算書

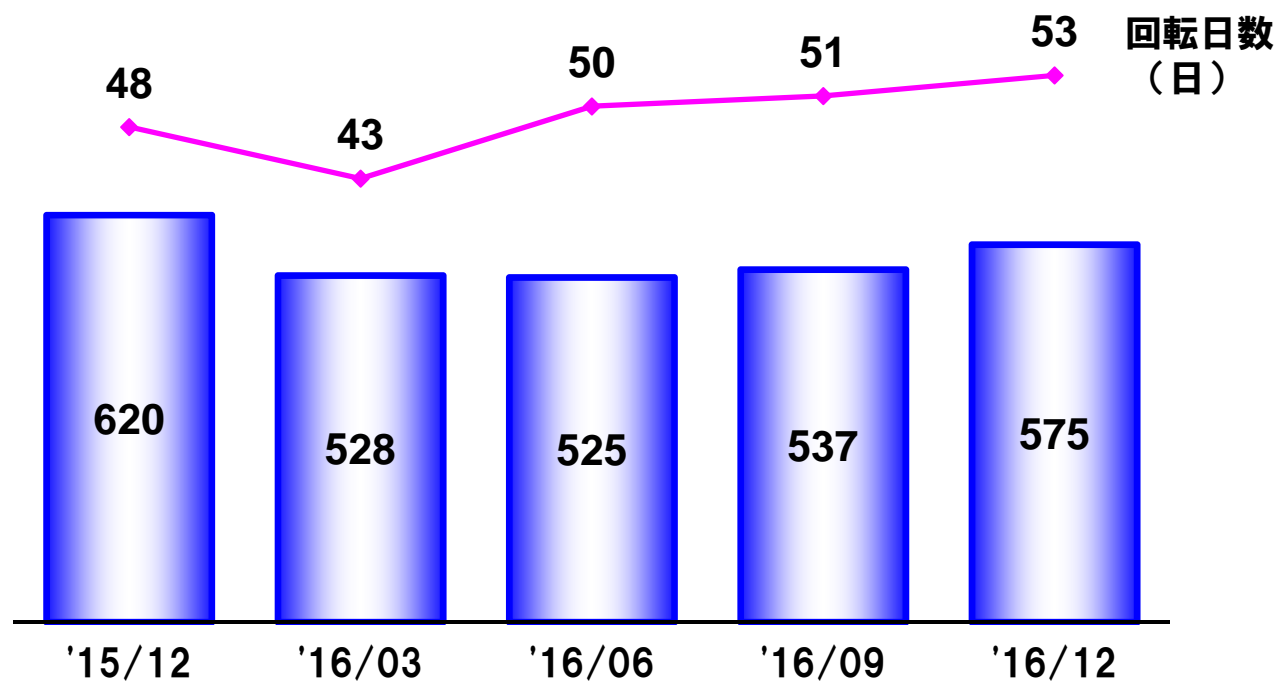
(単位:億円)

	第3四半期		9ヵ月通期	
	当四半期	前年同期	当期	前年同期
税金等調整前当期純損益	-32	9	-12	19
減価償却費	63	67	189	204
事業譲渡損益	12	-1	12	-3
退職給付に係る負債の増減	-10	0	-16	-11
売上債権の増減	41	-11	104	-17
棚卸資産の増減	3	7	-39	-12
仕入債務の増減	-41	22	-40	24
未払費用の減少	-8	-0	-12	-99
その他	37	12	-11	-31
営業キャッシュ・フロー	65	106	175	72
投資キャッシュ・フロー	-83	-125	-271	-207
財務キャッシュ・フロー	-6	159	27	102
現金・現金同等物の換算差額	33	-4	1	-11
フリー・キャッシュ・フロー	-18	-19	-96	-134
現金・現金同等物の増減	9	136	-69	-42
現金・現金同等物の残高	451	474		
NETキャッシュ残高	48	32		

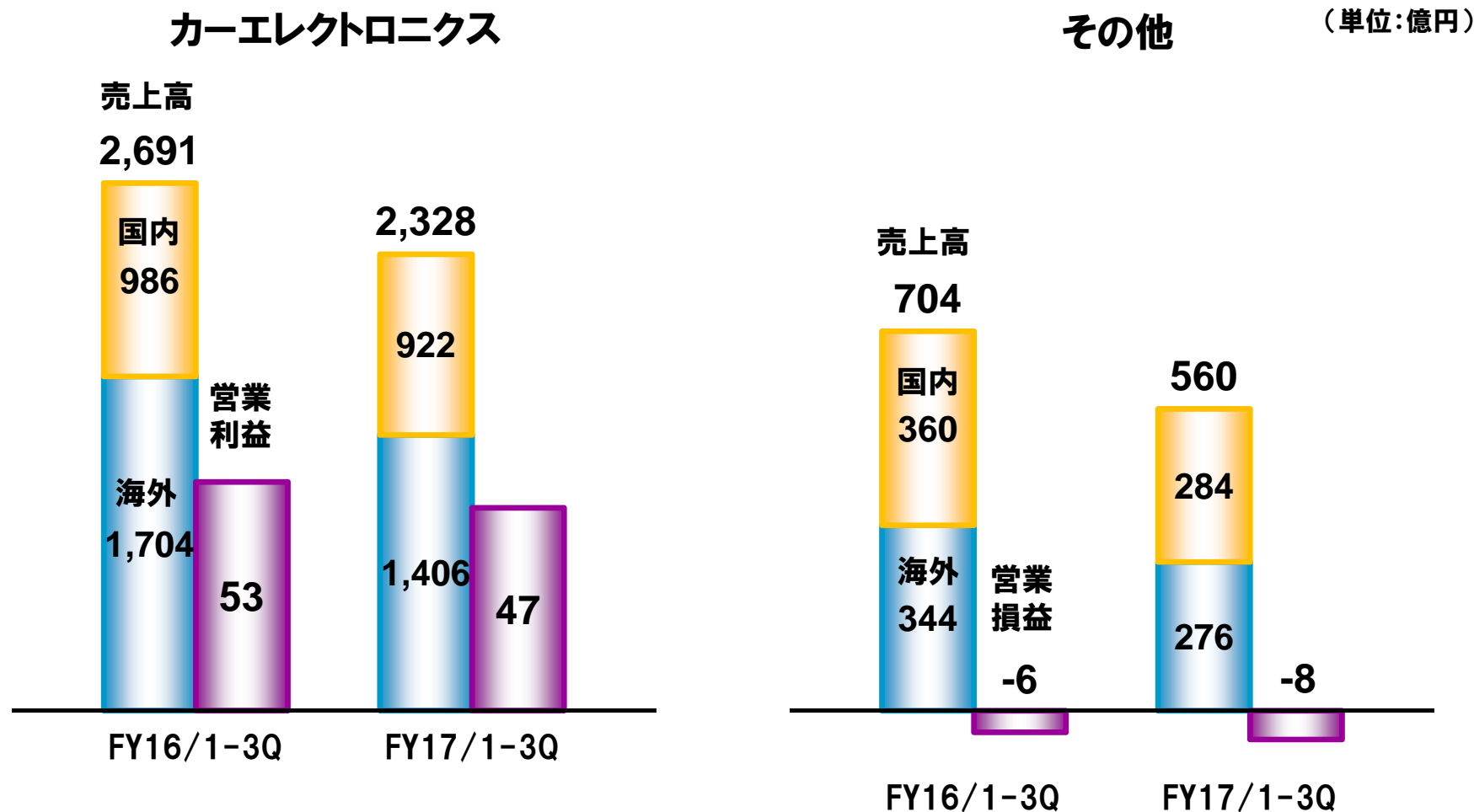


2017年3月期 第3四半期：棚卸資産

(単位：億円)



2017年3月期 9ヵ月通期 セグメント別売上高・営業損益



注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
 2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前年同期の金額についても組替表示しています。

2. 2017年3月期 連結業績予想

2017年3月期：通期連結業績予想

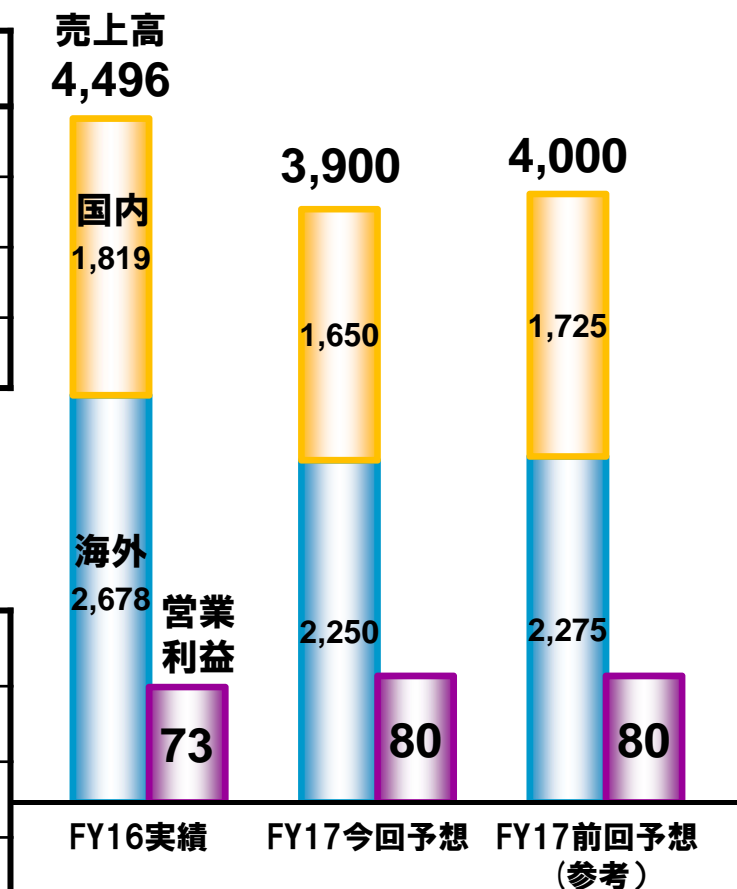
(単位:億円)

	今回予想	前回予想	前期実績	前期比
売上高	3,900	4,000	4,496	86.7%
営業利益	80	80	73	109.5%
経常利益	70	70	73	96.6%
当期純利益*	10	10	7	136.8%

為替 前提レート	1USDドル	107.47円	105.14円	120.14円
	1ユーロ	118.52円	116.58円	132.58円

1株当たり純利益*	2.72円	2.72円	1.99円	+0.73円
ROE	1.2%	1.2%	0.8%	+0.4%
1株当たり純資産	230.24円	210.21円	233.32円	-3.08円
ROA	0.3%	0.3%	0.2%	+0.1%

(単位:億円)



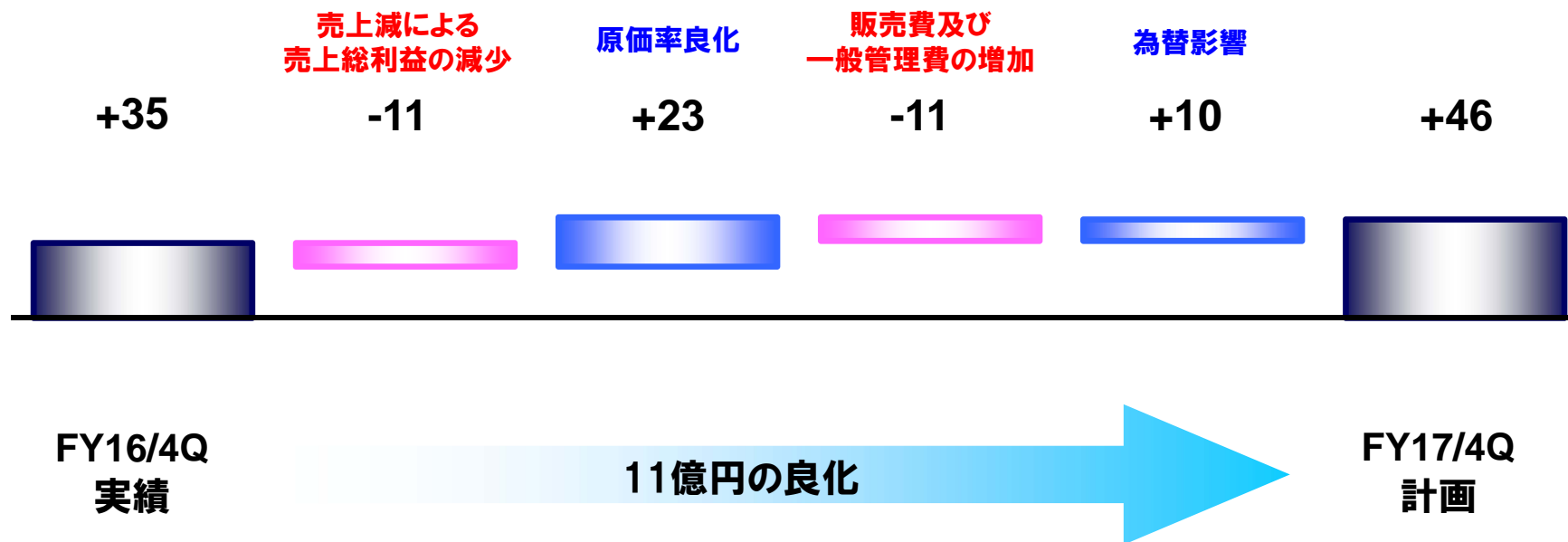
* 親会社株主に帰属する当期純利益

注) 1. 残り3ヵ月間の予想レートは、1USDドルは110円、1ユーロは120円を前提にしています。

2. 1円の円高インパクト(残り3ヵ月間)は、売上高では、USDドルは▲約4.5億円、ユーロは▲約0.5億円、営業利益では、USDドルは+約0.3億円、ユーロは▲約0.3億円。

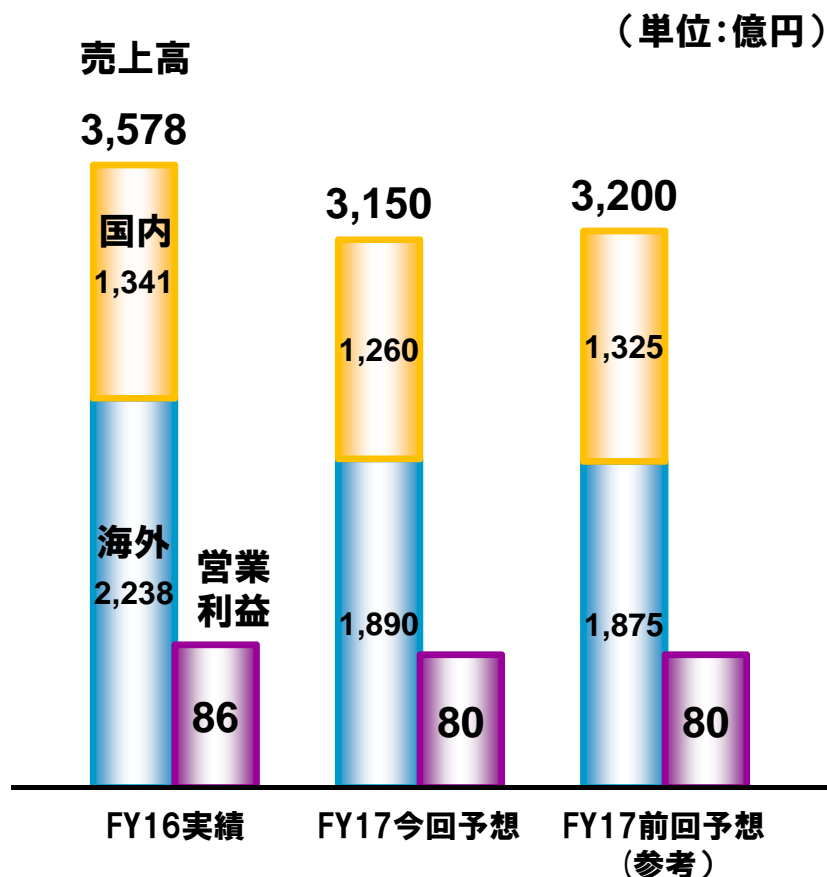
2017年3月期予想：第4四半期 営業利益（前年同期比較）

（単位：億円）



- カーエレクトロニクスは、市販では増収を見込むが、カーOEMの受注減により減収となる見通し。その他は、光ディスクドライブ、ホームAVやDJの生産受託の減少等により、減収となる見通し
- 原価率は、減価償却費の減少やコスト削減効果により良化
- 販売費及び一般管理費は、政策費等、売上拡大のための費用が増加

2017年3月期予想：カーエレクトロニクス



- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
 2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前期の金額についても組替表示しています。

< 売上高 > OEM比率 58% (前期 60%)

対前期	88% (国内 94%、海外 84%)
増収要因	地図ソフト
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム、 OEMカーオーディオ、市販カーオーディオ
対前回予想	98% (国内 95%、海外 101%)
増収要因	OEMカーオーディオ
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム、 市販カーオーディオ

< 営業利益 >

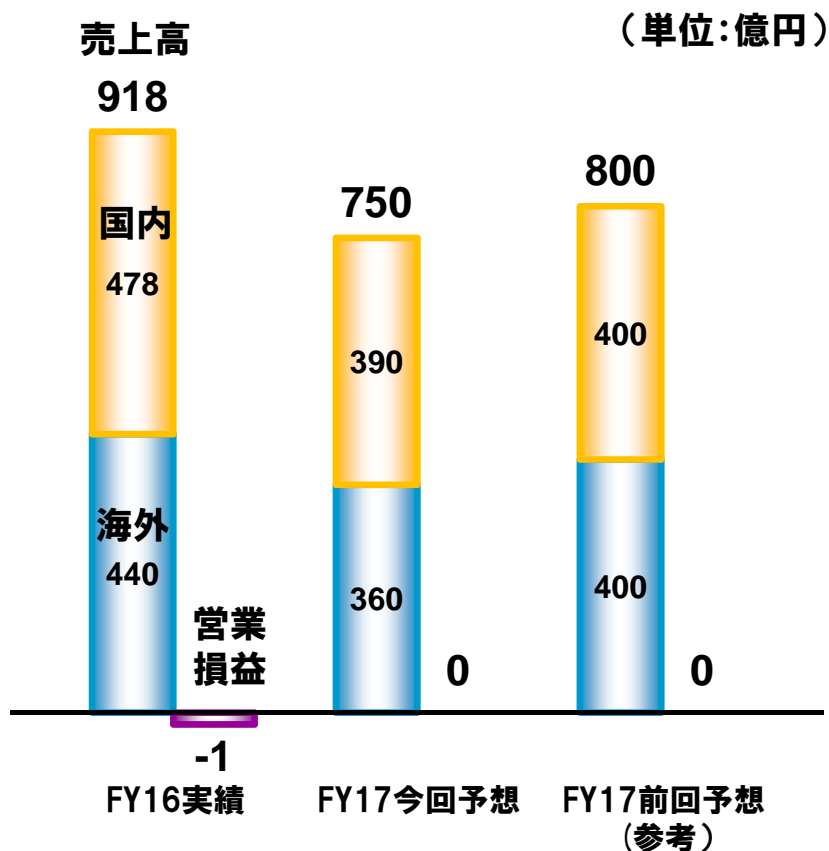
対前期	6億円の悪化
良化要因	原価率の良化(+15億円) 販売費及び一般管理費の減少(+8億円) 為替影響(+8億円)
悪化要因	売上減による売上総利益の減少(-37億円)
対前回予想	変化なし

< 出荷台数 >

(単位:千台)

	FY16実績	FY17今回予想	FY17前回予想
市販カーナビ	691	695	675
市販カーCD	5,784	5,955	6,150
市販カーAV	1,432	1,380	1,460

2017年3月期予想：その他



< 売上高 >

対前期	82% (国内 82%、海外 82%)
増収要因	FA機器
減収要因	光ディスクドライブ ホームAV
対前回予想	94% (国内 97%、海外 90%)
増収要因	光ディスクドライブ
減収要因	ホームAV、CATV関連機器

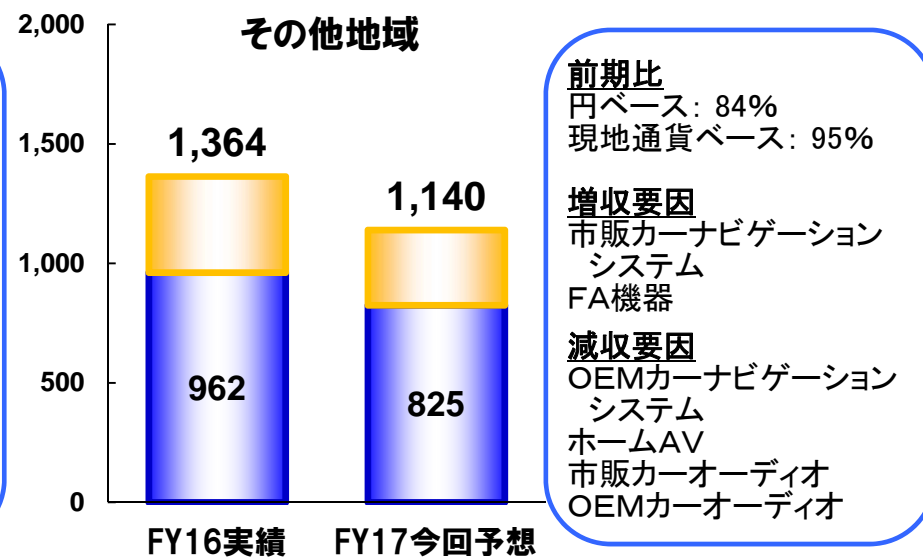
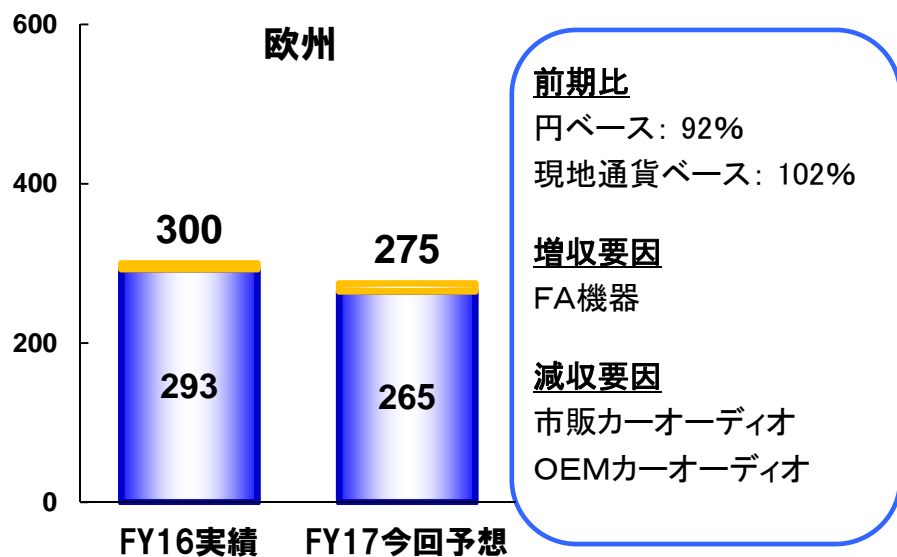
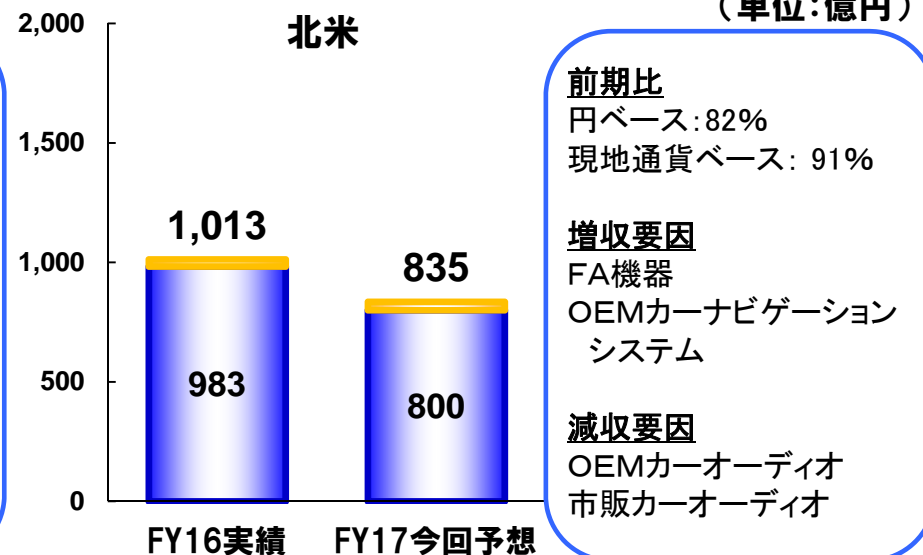
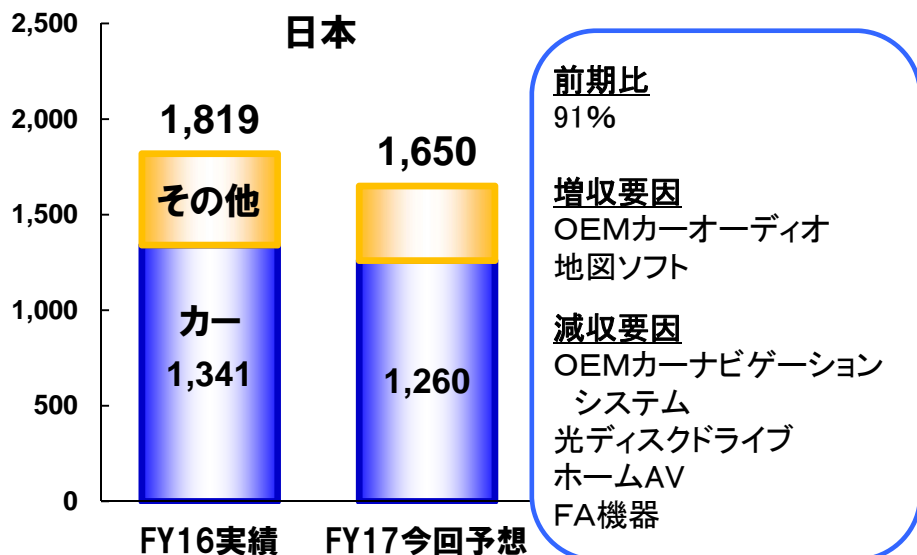
< 営業損益 >

対前期	1億円の良化
良化要因	原価率の良化(+24億円)
悪化要因	売上減による売上総利益の減少(-18億円) 為替影響(-4億円)
対前回予想	変化なし

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
 2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前期の金額についても組替表示しています。

2017年3月期予想：地域別売上高

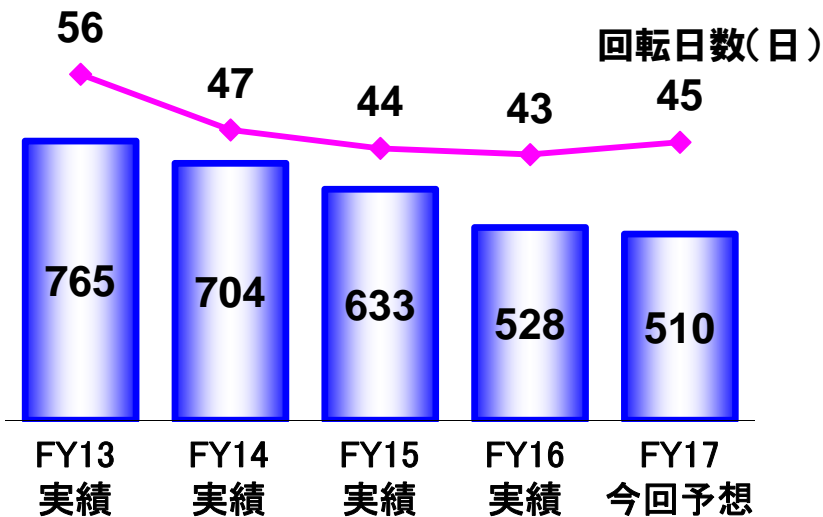
(単位:億円)



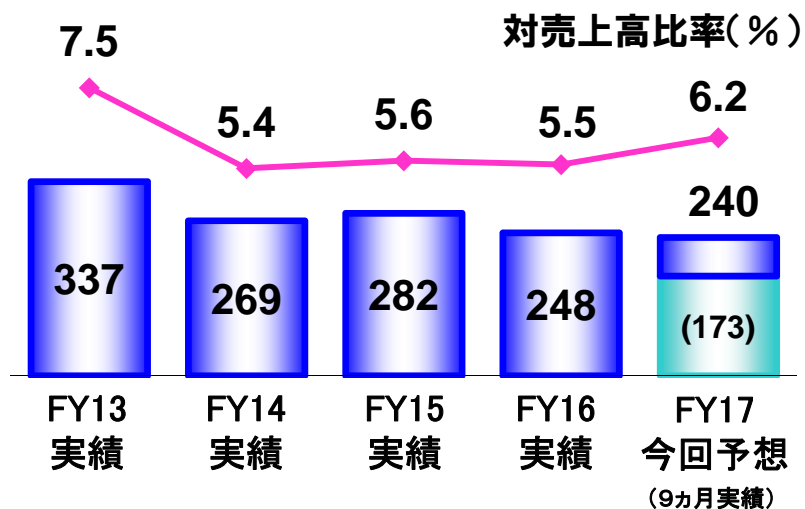
2017年3月期予想：棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位：億円)

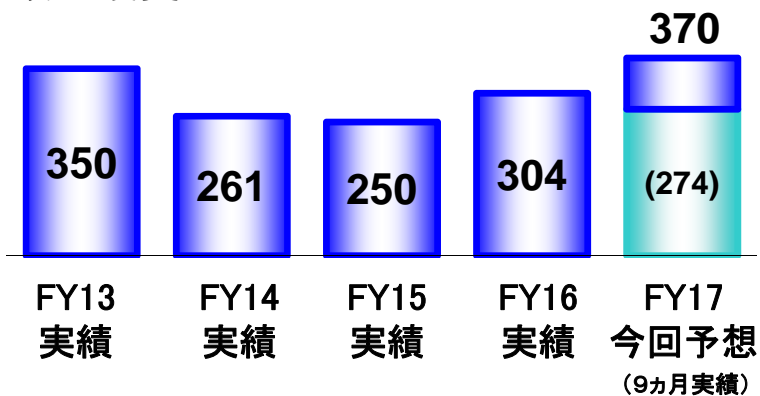
棚卸資産



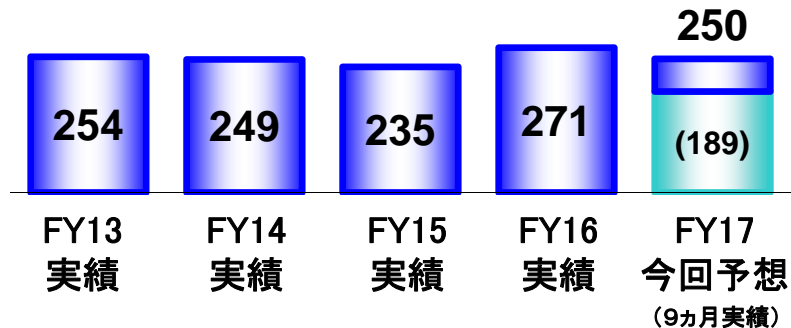
研究開発費



設備投資



減価償却費



2017年3月期予想：キャッシュ・フローおよび財務指標

(単位:億円)

	FY16実績	FY17今回予想	FY17前回予想 (参考)
営業キャッシュ・フロー	193	200	210
投資キャッシュ・フロー	-201	-370	-370
財務キャッシュ・フロー	34	15	15
フリー・キャッシュ・フロー	-8	-170	-160
純資産	905	890	810
自己資本比率	29%	30%	28%
借入金	373	390	390
D/E比率	0.4倍	0.5倍	0.5倍
現金及び預金	520	350	340

注) D/E比率=有利子負債÷(純資産-非支配株主持分)

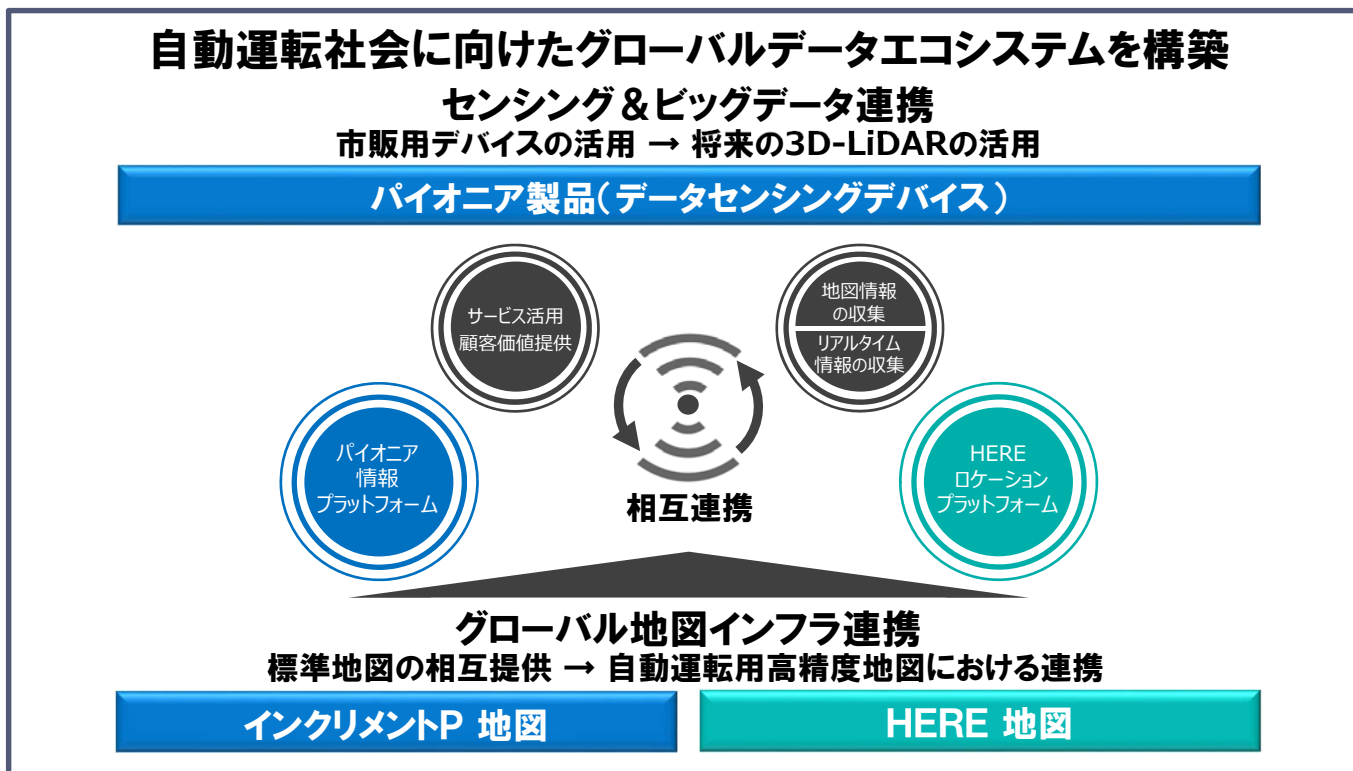
3. トピックス

HEREとの提携をグローバルな地図ソリューションと次世代位置情報サービスに拡大



- グローバルな標準地図サービス
- 自動運転用グローバルな高精度地図サービス
- パイオニアのセンシングデバイスから収集したデータの位置情報と地図更新サービスへの活用

【HEREとパイオニアの新しい協業イメージ】



Pioneer